計画	総合戦略	分野			基本政策	A	「人」にあたたかい富士見市	関係課	子育て支援課 子ども未来応援センター
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
1	結婚・出産の希望をかなえるまち	3	1	結婚の支援	B	婚活アドバイザーやFPによる相談会 結婚生活セミナー等の開催 結婚生活支援 婚活への支援		・令和3年4月より、富士見市が埼玉県出会いサポートセンター運営協議会に入会し、市内居住者の登録の促進を図った。（富士見市会員登録状況R3.3：99人⇒R4.12：201人）また、埼玉県出会いサポートセンターの出張登録会を令和5年1月に富士見市役所で実施し、登録の促進を図った。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	結婚生活支援の補助件数	-	-	-				10件/年（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
2	妊娠・出産の支援	B	不妊治療等の助成、妊娠に関する相談の充実 産前・産後サポート事業の推進 産後ケア事業の充実 情報提供の充実	・不妊治療の助成については、令和４年度からの保険診療に切り替えに伴う経過措置を継続するとともに、県や他市町村の動向を見ながら検討を行っている。 ・産前・産後サポート事業について、４か月児及び12か月児健診と同日開催する日を設け、事業周知の強化と健診バスを利用できるようにした。 ・産後ケア事業については、令和５年度からのデイサービス型実施に向け、委託医療機関と調整し、準備を進めている。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	不妊治療費等の助成件数	166件/年（R1）	191件／年（R２）	218件／年（R３）				226件/年（R7）

KPI	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	出生数	822人（R1）	824人（R2）	820人（R3）				1,005人（R7）
	20~30代の社会増減数	＋631人（R1）	＋731人（R2）	＋568人（R3）				+650人（R7）

課題及び次年度の方向性

既存事業を継続的に実施するとともに、必要な支援を必要な人に利用してもらえるよう、周知を図る。また、ニーズや効果を検証し、新たに実施する事業の検討や既存事業の見直しを行う。

計画	総合戦略	分野			基本政策	A	「人」にあたたかい富士見市	関係課	子育て支援課、保育課、子ども未来応援センター、生涯学習課、学校教育課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
2	子育ての希望をかなえるまち	3	1	子育て支援の充実	B	経済的支援（医療費助成など） 情報発信の充実（ガイドブック、HP、SNSなど） 情報共有の場の充実（コミュニケ―ション・悩みの共有） 子育て世帯の集いの場の充実 子育て世代を支える相談体制の充実		児童手当の受給資格者に対し、手当を支給するとともに、支給対象者に受給資格取得のための勧奨を行い、子育て家庭の生活の安定とこどもの健やかな成長に寄与した。 こども医療費助成を国・県補助金の対象ではない中学生までを継続して対象とし、子育て家庭の経済的負担の軽減とこどもの保健の向上を支援した。また、医療費の窓口払いなく受診できる区域を、令和4年10月より、2市1町から埼玉県内全域とし、利便性の向上を図った。 スマイルなびによる情報発信により、市のイベント情報、子育て情報を随時発信した。 スマイルなびの周知を継続したものの新規登録者は減少したが、利用者アンケートによる満足度は高い評価を得ることができた。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	妊娠届提出者の「スマイルなび」登録率	22.0% （R1）	13.0% （R2）					80.0% （R7）	

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
2	教育の充実	B	特色ある幼稚園教育の推進 子ども大学☆ふじみなどの実施 イングリッシュサマーキャンプなど、英語に触れあえる機会の創出 STEM教育などの推進	・特色ある幼稚園教育の推進について、補助制度の活用を促進するために、幼稚園に対して説明を重ねることで、補助金申請幼稚園数の目標を達成することができた。 ・子ども大学事業では、7回講義を実施し、定員を超える応募があった。 ・「イングリッシュ・サマー・キャンプ」では3年生と5年生の2つの学年で実施をした。アクティビティでAETと関わる体験活動を通して、英語に触れ合う有意義な機会となった。 ・STEM教育では、R2、R3で作成したふじみ野小カリキュラムモデルを基に、水谷東小、つるせ台小で研究を実施。2校ともに研究発表会を実施した。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	私立幼稚園特色のある幼児教育推進事業費補助金申請幼稚園数	６園（R1）	9園（Ｒ２）	9園（R3）				９園（R7）	

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
3	仕事と子育ての両立支援	B	保育所・放課後児童クラブの整備 幼稚園での預かり保育に対する補助 子育てサポートの充実（キャリアアップ支援、育児休業制度の周知、子育てサポート認定企業の推進、男性育児休業の推進）	・私立幼稚園の認定こども園への移行による低年齢児保育施設の整備や、小規模保育施設の整備に対する支援を行った。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	保育所待機児童数 放課後児童クラブ待機児童数	27人（R2） 0人（R2）	30人（R3） 0人（R3）	21人(R4) 0人(R4)				0人（R2） 継続	

	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
KPI	保育サービスなどの充実に関する満足度 ※中学生までの子どものいる方で抽出	47.6%（H30）	61.0%（R3）	－				57.9%（R7）	
	子育て支援環境の充実に対する満足度 ※中学生までの子供のいる方で抽出	61.8%（H30）	71.4%（R3）	－				66.8%（R7）	

課題及び次年度の方向性

子育て支援については、これまでも継続的に取り組んできており、一定の成果を上げることができている。保育所や放課後児童クラブの整備について、待機児童解消を目指しニーズを把握しながら継続していく。
仕事と子育ての両立支援については、より効果的な周知・啓発方法の工夫を図っていく。
また、STEM教育や子ども大学事業などについては、積極的にPRしていくことにより、子育て世帯に選ばれるようシティプロモーションと連携していく。

計画	総合戦略	分野			基本政策	A	「人」にあたたかい富士見市	関係課	文化・スポーツ振興課、高齢者福祉課、健康増進センター、障がい福祉課、公民館
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
3	健康長寿の希望をかなえるまち	3	1	支え合いの推進	B	生活支援コーディネーター活動の拡大 住民助け合いサービスの創設支援 高齢者見守りネットワークの普及・啓発 認知症サポーター養成講座の開催		コロナ禍のため、生活支援コーディネーターの地域活動は十分に行えていないが、できることを工夫しながら行っている。また、地域づくりのヒントを見つけてもらうため、令和5年2月22日に「地域つながる おとなりフェス」をオンライン(ZOOM)で基調講演や活動報告等を行うフォーラムを開催する予定で進めている。 認知症サポーター養成講座についてはコロナ禍のため以前のような開催水準ではないが、感染対策を実施した上で、前年度7回開催、108人養成に比べ、今年度はR4年12月末時点で10回、97人養成と開催回数は増えている。社会福祉協議会と連携して、小中学生向けに開催してもらうなど、開催の対象を広げることができた。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	第2層、第3層協議体数	-	3ヶ所（R2)	–				5ヶ所（R7)	

			2	健康づくりの推進	B	フレイルチェック事業の実施 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の推進 パワーアップ体操クラブの増設、健康マイレージの実施 介護予防教室の実施、がん検診の推進		・公民館等でフレイルチェック測定会を21回実施し、参加者293人だった。フレイルチェック体制が充実するよう、フレイルサポーターを養成した。 ・パワーアップ体操クラブを新規に１クラブ開設した。また、コロナ禍で休止していたクラブへの再開支援を実施した。介護予防教室は予定通り実施し、自主グループ化をすすめている。 ・がん検診については、新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた受診者数は少しずつ戻りつつある。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	パワーアップ体操クラブ数	56クラブ（R1）	56クラブ（R２）	51クラブ（R3）				70クラブ（R7）	

			3	生きがいづくりの推進	B	健康学習の充実、介護予防・フレイル予防に関する活動支援 高齢者のスポーツ・レクリエーションの充実 多様化する高齢者学習の支援、地域福祉やボランティア学習の充実 コミュニティ大学の支援、高齢者学級の充実		・高齢者学級の参加者は増加しており高齢者学級の必要性を再認識した。学級生同士のつながりも出来て、同じ地域に親しい仲間が出来たことにより安心感が生まれた。 ・高齢者サロン等が再開されてきており、健康講座を実施する機会が増え、25回578人となっている。 ・広報誌で特集を組んだり、フレイル予防川柳・標語を募集したりして啓発を行っている。 ・文化・スポーツ振興課及び富士見市スポーツ推進委員連絡協議会が共催する「市制施行５０周年記念ふじみヘルシーウォーク大会」を３年ぶりに開催したほか、健康増進センターでも運動を通した健康づくり教室等を展開した。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
	公民館（4館）の高齢者学級受講者の合計人数	493人/年（R1）	162人/年（R2）	–				530人/年（R7）	

	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値	
KPI	健康寿命	男性17.15年 女性19.95年	男性17.30年 女性19.83年 （R１）	男性17.63年 女性20.07年 （R2）				男性17.85年 女性20.65年 （R7）	

課題及び次年度の方向性

コロナ禍で休止していた活動について、工夫や内容の変更を加えて再開されてきており、参加人数も徐々に戻りつつある。安全面に配慮しつつ、コロナ禍であっても活動を継続してもらえるよう、対象者への効果的なアプローチを検討し今後も支援していく。
地域での高齢者サロンは活動中断期間が長かったことから、サポーター・参加者ともにフレイルの危険性が大きいと考えられる。再開されたこの機会をとらえ、ウィズコロナのフレイル予防について啓発を図っていく。
フレイルサポーター養成研修やフレイルチェック測定会は順調に実施できており、今後は地域団体や民間企業との連携を深め、周知啓発の充実に努め、事業参加者数の増加を図っていく。
高齢者学級の人数は増えているものの、安心安全な事業実施についてはきめ細やかな配慮が必要。コロナの状況を見極めながら引き続き事業を継続していく。

計画	総合戦略	分野			基本政策	B	「暮らし」にやさしい富士見市	関係課	産業経済課、都市計画課、道路治水課、建築指導課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
1	便利に快適に暮らせるまち	3	1	買物利便性の向上	B	商店街等の活性化（創業支援・商店街等の強化） 移動商店街・宅配事業者への支援（買物弱者支援） 不足業種の誘致		平成27年に買い物弱者支援として作成した宅配電話帳について、令和３年度に引き続き令和4年度も内容を最新情報へと更新し、新規事業者の追加も行った。テイクアウト、ホームページ、SNSなどの個店情報を追加したことで、買い物弱者に限らず、妊産婦や子育て世帯など買い物の利便性を求める市民への市内事業者の周知を図ることができた。	
			KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
				買物支援策の実施事業数	–	1事業（R3）	2事業（R4）				1事業以上（R7）
			2	住み心地の向上	B	市内循環バス・デマンドタクシーなどの見直し 歩道整備（グリーンベルト・安全施設設備） 空家対策（空家の適正管理、流通、利活用） 計画的な市街地整備（区画整理事業）、道路の整備（都市計画道路、生活道路等） 住まいに関する支援（リフォーム、住宅取得）		各取組は一定程度進んでいる。空家対策については、令和4年度策定の第2期空家対策計画に基づき対策を実施していくことが必要である。また、近居・同居も含めたリフォームや住宅支援についても新たな取組が必要になるものと考える。	
			KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
				市内循環バス及びデマンドタクシーを含めた市内交通の検証	–	–	–				実施（R7）

	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
KPI	市内消費活動に不便を感じていない人の割合	–	54.7%（R3）	–				75.0%（R7）

課題及び次年度の方向性

・宅配電話帳については、引き続き定期的な内容更新が必要になるため、広報及びホームページを活用し、内容の充実と最新情報の提供を継続して実施していく。移動販売については、事業者情報及び消費者ニーズについて検討していく。今年度はふじみマーケットやバスケット朝市もコロナ対策を講じて実施されており、今後もコロナ対策を講じて地域版ふじみマーケットを実施していく。
・便利に快適に暮らせるまちづくりについては、様々な視点があり、基本計画における多くの分野が関係してきている。現状としては各施策を着実に進めていくことで、結果としてバランスの取れた住みやすいまちとしていくことを想定する。
・今後においては、都市計画マスタープランでの方向性も意識しながら、注力していくポイントを総合戦略の中で見定め、ポイントを絞った取組となるよう連携調整を行う。

計画	総合戦略	分野			基本政策	B	「暮らし」にやさしい富士見市	関係課	シティプロモーション課、都市計画課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
2	地域の魅力を感じ暮らせるまち	2	1	公園・湧水の活用	B	湧水を活用した回廊の整備 びん沼自然公園の整備・活用 公園用地の確保 水子貝塚公園や難波田城公園等、特色ある公園の活用		・富士見市湧水と緑の活用基本方針（令和3年度）に基づく整備を検討。 ・鶴田用水の下の水車の整備の進捗に合わせて回廊整備を進める。 ・令和４年度にびん沼自然公園（公園管理施設、パークゴルフ場及び大型遊具・展望台）の整備が完了。令和５年４月に開園予定。 ・市民緑地「御庵」用地取得（6221.76㎡）した。また市民緑地「諏訪の森」の一部（2434.29㎡）を令和5年3月末までに購入予定。今後、貴重な緑地を保全・活用した整備について、関係課と協議し進めていきたい。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	水と緑の回廊整備箇所	－	－	－				1ヶ所（R7）

2	自然の保全と活用	B	市民緑地・緑の散歩道としての活用 保存樹林・保存樹木に対する助成 農地の保全（適正管理） 企業への緑化推進					・市民緑地、緑の散歩道について樹木の剪定等、適正な維持管理を実施した。 ・市内の樹木・緑地帯を保存樹木及び樹林に指定し、所有者に補助金を交付し、維持管理及び保全に努めた。 ・農地耕作条件改善事業について、下南畑二丁目地区においては事業完了。また、上南畑戸中堀地区においては、同事業を推進するため、全地権者より施行同意書を取得したほか、基本設計及び農地の集積・集約化に向けた地権者等との打ち合わせを実施した。（R4.6、10、12実施、R5.2、3実施予定） 人・農地プラン策定の機運を醸成するため、東大久保地区を対象に研修会を実施した。（R4.6実施） 上南畑地区人・農地プランの区域内で農地中間管理事業を推進した。このうち、みどり野北地区については、今年度、約10haの貸付けが行われ、地域の約81%が農地中間管理機構活用となる見込み。 ・開発事前協議の際、適正な公園設置及び緑地配置の指導を行い、開発区域に応じた公園・緑地の面積の確保、また、利用者が利用しやすい公園の構造（出入り口の確保、敷地形状・勾配、外構の設置等）とすることができた。 開発による緑地の整備は、新規の用地確保等難しい中、公園・緑地等の用地確保に大きく役立つものと考えることから、引き続き利用者に配慮した公園・緑地等の構造について指導・要請していく。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	市内の緑地面積	68,101.1㎡（R1）	63,013.11㎡（R3）	62,227.11㎡（R4）				88,101.1㎡（R7）

3	富士見ブランドの推進	C	富士見ブランド認定制度等の検討 富士見ブランドの育成・創出 地域資源に資する人材の発掘・活用		・富士見ブランドについては、市制施行50周年記念事業の実施に多くの時間を要したため、検討を進めることができなかった。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値			
	ブランドの育成・創出数	5件（R1）	5件（R2）	5件（R4）				10件（R7）			

KPI	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	休日の滞在人口	85,643人（R1）	89,127人（R2）	–				88,000人以上（R7）

課題及び次年度の方向性

緑地の保全については一定程度進めることができた。今後、大御庵の杜緑地保全・活用事業の進捗を見据えながら、湧水の活用について継続的に検討を行う。
また、今後、貴重な緑地の保全・活用した事業について、積極的に対外的な情報発信を行っていく必要がある。
富士見ブランドの育成・創出については、引き続き検討を進めていく。

計画	総合戦略	分野			基本政策	B	「暮らし」にやさしい富士見市	関係課	政策企画課・協働推進課・建築指導課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
3	ともに支え合い暮らせるまち	2	1	地域コミュニティの推進	B	町会への加入促進 地域まちづくり協議会設立の支援 地域まちづくり協議会の活性化支援		町会の活動も少しずつ戻ってきているため、情報収集を再開している。 未設置地域への情報交換会を働きかける予定。 南畑地域まちづくり協議会の会議への事務的支援、 水谷東安心まちづくり協議会主催の会議や各部会への事務的支援、共催で地域問題に係る講習会を開催するなど協議会の活性化に繋がる支援ができた。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	地域まちづくり協議会の設立	6ヶ所（R1）	6ヶ所（R2）	6ヶ所（R3）				11ヶ所（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
2	近居・同居の促進	C	近居・同居に対する支援 近居・同居セミナー等の開催	未実施。住宅支援の観点から、支援対象者を子育て世帯等に限定するのか、同居や近居を要件とするのか等、他自治体の事例を参考に目的、方向性を検討する必要がある。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	近居・同居相談支援件数	－	－	－				5件/年（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
3	協働の推進	B	協働事業提案制度の見直し ふるさと祭りなどの協働イベントの実施 SDGsの理念を活用した市民協働事業の実施 SDGsによる持続可能なまちづくり	協働事業提案制度について、複数年度補助の導入等のR5制度改正に向けて進めている。行政提案制度・アイデア提案制度を廃止し、小規模事業提案への補助金メニューの創設に向けて継続して検討中。 ミニ鉄道運転会13回実施、1,276人が参加。民間広報紙等にも掲載してもらい、多くの親子の参加・交流ができ、地域コミュニティの醸成が図れた。ふるさと祭りは感染対策を行い、市民参加型企画や市制施行50周年記念イベントを取り入れて開催。約36,000人の来場者にふるさと富士見の良さをPRできた。 令和5年度のSDGs未来都市エントリーに向けた準備を行う。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	協働事業提案制度への応募件数	4件/年（R1）	0件/年（R3）	3件/年（R4）				5件/年（R7）

KPI	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	地域活動への参加状況	58.1%（H30）	53.6%（R3）	－				61.0%（R7）

課題及び次年度の方向性

・協働事業提案制度の応募数や市民団体との協働事業の実施数は目標値を達成していないが、協働事業提案制度の運用を見直し、市との協働のハードルを下げ、新たな提案者の発掘・裾野の拡大を図っていくことにより、数の増加とともに多様な地域課題の解決を図っていく。また、制度を市民に広くPRし、市との協働を始める一つの方法として市民に浸透することにより、協働によるまちづくりの拡大につなげていく。
・近居・同居施策については、住宅支援の観点で支援できることがないか、他自治体の事例も参考に、所管課と政策企画課で協議を進めていく。
・SDGsの理念の普及啓発に取り組み、協働事業への参加に対する市民理解の土壌づくりを行い、令和5年度中にSDGs未来都市へエントリーすることに向けて準備を行っていく。

計画	総合戦略	分野			基本政策	B	「暮らし」にやさしい富士見市	関係課	危機管理課、協働推進課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
4	誰もが安全で安心に暮らせるまち	3	1	防犯対策の推進	B	防犯に関する広報・啓発活動の推進 自主防犯活動の推進（リーダーの養成等） 防犯機器等（防犯カメラ・振り込め詐欺対策電話機等）の普及		・広報、ホームページ、防犯行政無線等を活用した情報発信を行うとともに、防犯リーダー講習会や市内３駅での街頭キャンペーン、市庁舎での啓発品配布などを行い、犯罪に遭わないための知識を周知することができた。 ・ウィズコロナに対応した自主防犯活動が再開されており、青色防犯パトロールカーによる巡回（12/1時点　158回）やリーダー養成研修（52人参加）の実施、また地域における防犯パトロールなど、自主的な活動を維持している。 ・市内３駅周辺に３０台の街頭防犯カメラを設置し、警察からの捜査協力要請に応じて画像の提供を行っている。 また、振り込め詐欺対策電話機の購入に対する補助を行い、防犯環境の整備を進めている。(令和3年度実績38件、令和4年度実績32件(12/28時点))	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	自主防犯組織の結成率	100%（R1）	100%（R2）	100%（R3）				維持（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
2	災害対策の推進	B	富士見市自主防災組織育成補助金 防災訓練の実施 防災ガイドブック（ハザードマップ）の更新及び周知	・富士見市自主防災組織育成補助金を交付し、自主防災組織の資機材整備や防災倉庫の設置等が行われ、地域防災力の向上が図られた。 ・南畑小学校区合同防災訓練を実施し、地域住民との連携強化を図った。 ・富士見市防災ガイドブックに掲載している、マイ・タイムラインの作成方法の動画を作成し、市民に向けて公開し、周知・啓発を行った。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	自主防災組織率	75.8%（R1）	75.4%（R３）	75.2%（R4）				100%（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
3	交通安全対策の推進	B	幹線・生活道路の整備事業の推進 交通指導員の立哨 スケアードストレイトによる交通安全教育の実施 地域団体主催の交通安全教室の支援	・交通指導員による登校時の立哨をはじめ、学校、地域、保護者の連携による登下校時の見守り等、通学路の安全確保継続して実施している。 ・コロナ禍による影響は見られたものの、小中学校での交通安全教室を通じ交通安全の啓発を図った。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	交通指導員の立哨箇所	32ヶ所（R1）	32か所（R2）	32か所（R3）				継続（R7）

KPI	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	市内犯罪率（人口千人あたりの刑法犯認知件数）	10.8件（H24~H28平均値）	－	－				8.7件（R7）

課題及び次年度の方向性
・安心安全の対策については、継続的に実施できているところである。 ・地域の自主防犯組織間の連携や情報共有に取り組み、地域防犯力の向上に努める。 ・自主防災組織及び防災連絡会について、新規結成がなかなか進まないことから、今後は未結成団体に対し、防災に関する意識啓発や補助金などの制度を周知し、結成に向けたフォローアップを行っていく。 ・防災訓練について、近隣市町や関係機関と連携した訓練を行うなど、効果的な訓練の実施を目指す。 ・日々の立哨活動や交通安全教室による交通安全教育を継続して実施するとともに、街頭活動や広報富士見等を活用した啓発活動により、より多くの市民への交通安全思想の普及を図る。 ・日々の交通指導や街頭活動、学校や地域における交通安全教室、広報活動としての学校へのチラシ配布やポスター掲示による注意喚起、啓発を実施する。

計画	総合戦略	分野			基本政策	C	「仕事」をつくる富士見市	関係課	産業経済課、農業振興課、都市計画課、まちづくり推進課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
1	強い産業基盤を形成するまち	4	1	シティゾーンの整備推進	B	埼玉県企業局と共同事業による産業団地の整備 市内外の企業の連携の強化		・富士見上南畑産業団地整備事業に係る用地契約が完了。 ・市及び埼玉県企業局による富士見上南畑産業団地整備事業の説明会を開催。 ・埼玉県企業局による富士見上南畑産業団地整備事業の実施設計が完了見込み。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	企業誘致の実現	－	－	－				産業団地の整備（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
2	先端設備等の導入支援	A	富士見市中小企業チャレンジ支援事業による補助 先端設備の導入などの支援 産業振興基金を活用した事業所支援	・令和4年4月から、チャレンジ支援事業補助金に、経営革新計画承認事業者への補助メニューを追加し、補助事業の充実が図られた。 ・中小企業チャレンジ事業補助金については、補助件数がR3年度の17件を超える見込みになっており、先端設備等導入計画についても目標を超える認定数となり、生産性向上や良好なモノづくりの環境整備を推進できた。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	先端設備等の導入計画の認定数	5件（R1）	9件（R2）	11件（R3）				7件（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
3	創業・経営支援	B	創業支援事業計画の推進（セミナー・フォローアップの実施） 新規創業者利子補給金による支援 商店街空き店舗出店事業の実施 チャレンジショップの開設支援 大学等との連携による商業活性化支援	創業支援セミナーから経営・創業相談へつながった事例もあり、セミナーから具体的な創業準備まで、伴走型の支援を実施した。日本政策金融公庫や民間金融機関、市商工会、創業・ベンチャー支援センター埼玉と連携して、令和4年9月には創業パネル展示を実施し、創業機運の向上にも努めた。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	商店街空き店舗出店事業補助を活用した新規創業者数	3.6件/年 （H27~R1平均）	－	－				5件/年（R7）

KPI	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	製造業の事業所数	154事業所（R1）	－	－				160事業所（R7）

課題及び次年度の方向性

中小企業チャレンジ支援事業については、支援メニューについて追加や改善、廃止を含め、事業者のニーズに合っているか検証していく。市内企業間の交流機会の提供については、商工会等の関係機関や窓口等で事業者のニーズをとらえるようにし、必要とされる交流機会の提供を検討していく。

計画	総合戦略	分野			基本政策	C	「仕事」をつくる富士見市	関係課	産業経済課、農業振興課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
2	魅力と活力のある農業基盤を形成するまち	4	1	農地の集積・維持	A	農地耕作条件改善事業の実施 人・農地プランの実質化 農地中間管理事業の実施		農地耕作条件改善事業について、下南畑二丁目地区においては事業完了。また、上南畑戸中堀地区においては、同事業を推進するため、全地権者より施行同意書を取得したほか、基本設計及び農地の集積・集約化に向けた地権者等との打ち合わせを実施した。（R4.6、10、12、R5.2、3実施） 人・農地プラン策定の機運を醸成するため、東大久保地区を対象に研修会を実施した。（R4.6実施） 上南畑地区人・農地プランの区域内で農地中間管理事業を推進した。このうち、みどり野北地区については、今年度、約10haの貸付けが行われ、地域の約81%が農地中間管理機構活用となる見込み。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	農地耕作条件改善事業実施地区数	1地区（R1）	–	–				2地区（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
2	農業の担い手支援	B	認定農業者等チャレンジ支援事業補助事業の充実 経営相談体制の充実 NPO法人等と連携した、高齢者・障がい者の農業分野への進出	認定農業者等チャレンジ支援事業補助金　R3　6件（2,354,000円） R4　7件（4,700,000円）（見込） 農業経営改善計画認定申請に係る相談　新規8件　更新7件 農業用機械購入支援事業の検討（R5年度事業開始予定） 水稲直播栽培支援事業の検討（R5年度事業開始予定）

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	認定農業者数	33経営体（R1）	33経営体（R2）	38経営体（R3）				40経営体（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
3	経営改善の推進	B	6次産業化の検討支援 品種改良の支援 スマート農業の推進 付加価値の高い品種への転換支援	認定農業者等チャレンジ支援事業補助金　R3　6件（2,354,000円） R4　7件（4,700,000円）（見込）（再掲） 農業経営改善計画認定申請に係る相談　新規8件　更新7件（再掲） 有機肥料等購入支援事業の検討（R5年度事業開始予定） 水稲直播栽培支援事業の検討（R5年度事業開始予定）（再掲） 農業用機械購入支援事業の検討（R5年度事業開始予定）（再掲）

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	1経営体当たりの平均農業産出額	280万円（H27）	–	–				300万円（R7）

KPI	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	人・農地プランの対象面積	49ha(R1)	–	–				64ha(R7)

課題及び次年度の方向性
・人・農地プランについては令和7年4月までに法定計画（地域計画）の策定が必要となるため、取組みを強化する。また、既に人・農地プランが策定されている地区については、国の機構集積協力金を活用しつつ、農地中間管理事業を推進する。 ・新規就農者や規模拡大意向のある農業者（特に畑地）に対する農地の権利設定が困難であり、就農対策打ち合わせ会（仮称）までの検討に至っていない。 ・農地中間管理事業の実施面積増加や水田フル活用の推進により、担い手の収入の増加が図られているほか、令和5年度には新規補助金の創設を実施し、儲かる農業の実現を推進している。引き続き、農業経営の課題解決につながる支援の仕組みづくりを検討する。しかし、現状の各種制度については、活用農業者が少ないことが課題となっているため、十分に農業者への周知方法を検討しながら補助事業を推進することとする。また、既存制度の周知についても積極的に実施する。

計画	総合戦略	分野			基本政策	C	「仕事」をつくる富士見市	関係課	文化・スポーツ振興課、人権・市民相談課、高齢者福祉課、産業経済課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**			**R4年度の成果及び効果（見込）**
3	誰もが活躍できるまち	3	1	多様な働き方の推進	B	サテライトオフィスの誘致又は開設 資格取得の促進			埼玉県市町村テレワーク・サテライトオフィス情報交換会で、企業ニーズについてや県内他自治体の状況把握を行った。また、資格取得の促進として、中小企業チャレンジ支援事業において資格取得の支援を行った。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	サテライトオフィス・リモートワークスペースの誘致	–	検討・実施（R3）	検討・実施（R4）				検討・実施（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
2	女性活躍の推進	B	有資格者の掘り起こし 女性の再就職・起業の支援 男性育児休業取得の推進	女性の再就職・起業支援として、県女性キャリアセンターのセミナーを市HPで周知するほか、市就職支援セミナーも実施する。男性育児休業取得を推進するため、市広報5月号に制度の周知を掲載したほか、商工会の協力を得て、県の支援策を紹介するチラシを商工会会員に周知した。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	有資格者の掘り起こしから実際に就職した人	–	3人/年（R3）	—				5人/年（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
3	高齢者の就労支援	B	地域における高齢者雇用に対する支援 高齢者向け就労相談事業の実施 シルバー人材センターの機能強化 人手不足事業者と高齢者のマッチング事業	県のセカンドキャリアセンターなど高齢者向けのセミナーを年代別に分かりやすい方法で市HPで周知をし、さらに県の「シニア活躍推進宣言企業」や「生涯現役実践企業」の市内認定企業を紹介するなど、シニアが活躍できる企業をPRしている。就職相談事業の実施したが、定員を満たし参加者からのアンケート結果の満足度は高いものが得られた。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	就労支援セミナー参加割合（高齢者）	55.0%（R1）	46.7%（R3）	—				60.0%（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
4	外国籍市民の地域での活躍支援	B	外国籍市民が地域に溶け込む機会の提供 外国籍市民向けチラシ等による地域参加の促進	広報富士見の多言語配信やNPO法人ふじみの国際交流センターへの6か国語でのホームページの作成委託、市配布物の多言語、やさしい日本語の促進等、外国籍市民が地域で活動しやすい環境を整備している。 新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた国際交流フォーラムを実施した。

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	外国籍市民向けの地域参加促進事業数	–	–	1事業（R4）				1事業以上（R7）

KPI	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	女性の就業率	52.4%（H27）	–	–				56.8%（R7）

課題及び次年度の方向性
富士見市ふるさとハローワーク、入間東部シルバー人材センター、埼玉県キャリアセンター、ふじみ野国際交流センター、富士見市商工会など、関係機関と連携をとって事業を進めた。今後もこれらの関係機関と連携しながら就職支援に取り組んでいく。また、今年度は既存のホームページを情報の受け手側に分かりやすくリニューアルするとともに、関係機関のセミナー等も積極的に掲載し、周知に力をいれた。また、多様な働き方においても、県の様々な認定を受けている企業を紹介するページを作成するなど周知に努めた。今後も、情報の受け手にとっての周知方法について検討していく。

計画	総合戦略	分野			基本政策	D	「新しい生活様式」に対応する富士見市	関係課	危機管理課、健康増進センター、学校教育課、各課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
1	新たな日常に対応した生活の確立	3	1	感染拡大防止対策など社会環境の整備	B	3密対策の実施 医療体制確保への支援 行政手続きのICT化の推進 感染症に対応した災害体制の構築		地方創生臨時交付金を活用し、感染拡大防止、予防に向けた各種支援を実施した。 ・市内私立幼稚園の感染対策費用への支援 ・コロナ禍を想定した避難所備蓄品の充実 ・公共施設の公衆無線LANの導入 ・障がい者とのコミュニケーション支援　など	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	社会環境整備策の実施	－	実施（R3）	実施（R4）				実施（R7）

No.	取組	進捗	具体的な取組	R4年度の成果及び効果（見込）
2	新たなライフスタイルへの対応	B	学校教育等におけるICT化の推進 新たな生活様式に対応した事業等の実施 ひとり親家庭や単身高齢者へのつながりの創出	地方創生臨時交付金を活用し、新たなライフスタイルへの対応に向けた環境整備や高齢者の活動支援を実施した。 ・GIGAスクール構想の教育効果を高めるための通信環境の強化 ・外出機会が減少した高齢者の健康維持のためのノルディックウォーク講習会の実施や貸与物品の配備　など

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	新たなライフスタイルへの対応策の実施	－	実施（R3）	実施（R4）				実施（R7）

KPI	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	感染症に対応して生活している市民割合	96.4%（R2）	98.7%(R3)	97.6%(R4)				100%（R7）

課題及び次年度の方向性

新型コロナウイルスのみならず未知のウイルスによる感染拡大が起きた際でも、平時と同様の社会経済活動を継続するためには、感染拡大の影響によらずその活動を継続することができる環境を、行政だけでなく市内全体で整えていく必要がある。そのためには、令和３年度に策定された富士見市DX推進計画に基づき、官民問わず関係者間で連携を取りながらデジタル化を推進していく必要がある。
なお、行政手続き等におけるデジタル環境の整備にあたっては、基幹系システムの標準化・共通化を軸としつつICT推進課やシステム利用所管課を中心として地方創生臨時交付金やデジタル田園都市国家構想交付金等を有効に活用しながら適時において取組みを進めていく。

計画	総合戦略	分野			基本政策	D	「新しい生活様式」に対応する富士見市	関係課	産業経済課・農業振興課
No.	**基本施策**	**進捗**	**No.**	**取組**	**進捗**	**具体的な取組**		**R4年度の成果及び効果（見込）**	
2	地域経済の継続	3	1	事業継続への支援	B	資金繰り対応への支援 地代・家賃負担の軽減策の実施 生活困窮者への支援（就業支援など） 雇用の拡大（就労希望者と事業者のマッチング） 新たな取組を行う事業者等の支援の実施		新型コロナウイルス感染症関連融資を受けられた市内中小企業者に対して、返済に係る事業者の負担軽減を図ることで事業継続を支援するため継続支援給付金を支給した。併せて、中小企業チャレンジ支援事業に経営革新事業を補助メニューに加え、新たな取組を行う事業者支援の充実を図った。	

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	事業継続支援策の実施	－	実施（R3）	実施（R4）				実施（R7）

2	消費需要の喚起	B	いい富士見の日などを活用した販売促進 市内事業者の周知 シティゾーンの誘致に伴う、市内工業との連携強化	3年ぶりにいい富士見の日に実施するふじみマーケットを開催。宅配電話帳の再発行（予定）を実施するなど、消費需要の喚起を行った。				

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	消費需要喚起策の実施	－	実施（R3）	実施（R4）				実施（R7）

3	デジタル技術の積極的活用（生産性の向上）	B	遠隔医療、遠隔教育、テレワークなどの導入支援 デジタル技術を活用した新たな公共交通体系の確立 農業のスマート化、農地の集積の促進 先端設備の導入支援、ICT化の推進（人的支援など）	中小企業チャレンジ支援事業のデジタル・トランスフォーメーション化事業により、市内事業者のテレワーク導入支援を実施した。 農業のスマート技術を活用した機械等の情報収集、情報提供等を行う中で、認定農業者等チャレンジ支援事業による導入支援を周知した。 上南畑地区人・農地プランの区域で農地中間管理事業を推進した。特にみどり野北地域では国の機構集積協力金交付事業の活用により集積率が約81%になる見込み。				

KSF	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	デジタル技術を活用した支援策の実施	－	実施（R3）	実施（R4）				実施（R7）

KPI	タイトル	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	目標値
	市内消費の割合（食料品・日用雑貨等）	52.4%（H27）	－	－				56.8%（R7）

課題及び次年度の方向性

新型コロナウイルス感染症の長期化及び物価高騰の影響により、市内事業者は引き続き厳しい状況に置かれているが、改善状況も見られることから、市内経済が活性化できるよう中小企業チャレンジ支援事業の補助対象事業の活用を図り、頑張る事業者の支援を推進していく。
物価高騰の影響により、農業者の経営が圧迫されている。生産費等を下げ効率的な農業を実施するために、認定農業者のチャレンジを支援するほか、農地の集積・集約化を推進していく。